

第333号
平成27年

11月10日

すまいるたん



発行元
東京新聞
南千住東口専売店
TEL5850-3699
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090-2657-0300

「見上げてごらん夜の星を」 映像が掘り起こす記憶

「見上げてごらん夜の星を」上映会
があります」

10月14日(土) 12時〜13時30分、荒
川スポーツセンター4階にて上映会を
致します。(無料)

「見上げてごらん夜の星を」は53年前
の昭和38年11月1日公開されました。
荒川区の荒川高校定時制に通う高校
生と定時制の級友や教師、全日制の女
子高生、経済的理由で高校に行けない
同僚たちとの交流や生活を描かれてい
ます。坂本九・中村賀津雄・伴淳三郎
・菅原文太などが出演しています。

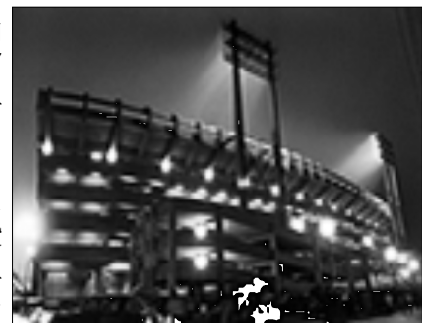
昭和38年、全国での高校進学率は
66.8%でした。(総務省統計局)

東京スタジアム・荒川工業高校・都
電「荒川区役所前」「三ノ輪橋」・素盞雄
神社・若宮神社・千住間道・お化け煙
突が見える向上の入口(町屋7丁目)
・尾竹橋公園がこの映画のロケ地になっ
ています。

東京スタジアムはナイター照明が目
立ち「光の球場」と呼ばれていました。
ボーリング場や冬季期間にアイススケー

トリックを併設して
いました。

かつては千住製絨
所戦後は大和毛織が
所有していた用地を
大毎オリオンズのオー
ナー永田雅一が私財
を投じて取得、昭和
36年7月に着工、昭和37年5月に竣工し
ました。47年に閉場、49年には閉鎖、昭
和52年に解体されました。



現在は荒川総合スポーツセンター、南
千住警察署、都営住宅があります。

「お父さんが徹夜でタイルを貼ってた」
一年弱の突貫工事で作られた球場には
地元の方も多く関わっていました。

その東京スタジアムを上空から撮りさ
されたシーンがこの映画の始めに出てきま
す。

現在の都立荒川工業高校も主要なロケ
地になっています。昭和23年都立上野高
校三河島分室として開校され、昭和35年
に都立荒川高等学校が開校、昭和39年
に都立荒川工業高校と改称されました。

映像では荒川高等学校と映っています。
映画の中に映し出されるシーンは、昭
和の温かさがかもし出されています。

走る都電の中には今はいない車掌さん
もいたり、皆さんの懐かしい光景があち
こちにあります。

坂本九さんのハツラツとした笑顔と歌
声、心の栄養となることでしょう。

「荒川の良さを再確認していただけたら」
山田真人志さんが皆様の馴染みのロケ
地の場面では映像をストップして解説を
してくださいませ。

第30回あらかわ福祉まつりも10時〜15
時まで開催致します。赤ちゃんから年を
重ねた方まで誰でもが楽しめるイベント
が盛りだくさんです。
貴重な写真アルバムから懐かしい南千
住を思い起こす映像コーナーもございま
す。

「あの時は・・・」
と思い起こすひと
時を過ごしたいら
しゃいませんか。



第30回あらかわ福祉まつり

11月14日(土) 10時〜15時 荒川総合スポーツセンター

◇「見上げてごらん 夜の星を」上映会 (入場無料)

11月14日(土) 12時〜13時30分

荒川総合スポーツセンター4階 会議室

問合せ 荒川区社会福祉協議会 tell (3802) 2794